



このマニュアルについて

ここでは、『*ASR 5500VPC-SISystem Administration Guide*』、マニュアルの構成、および表記法について説明します。

『*System Administration Guide*』では、ASR 5500 プラットフォームで実行されている StarOS を設定および維持する一般的な方法について説明します。また、システムパフォーマンスのモニタリングとトラブルシューティングについても説明します。

Cisco 仮想パケット コア シングルインスタンス (VPC-SI) は、既製品 (COTS) のサーバー上の仮想マシン (VM) で実行されている単一の StarOS インスタンスで構成されます。このガイドでは、ハイパーバイザ制御 VM 内で実行されている StarOS インスタンスを設定および管理する方法について説明します。



(注) コントロールプレーンとユーザプレーンの分離 (CUPS) は、StarOS ベースの製品の 3G、4G、および 5G のネットワークでの展開方法におけるアーキテクチャ上の著しい変更を表します。別段の指定がない限り、このドキュメントで言及されている設定 (コマンド、統計、属性、MIB オブジェクト、アラーム、ログ、サービスを含むがこれらに限定されない) が、レガシー製品または CUPS 以外の製品との機能的な同等性を意味するものではありません。CUPS 製品または機能への言及は、情報提供のみを目的としています。この製品と CUPS 製品間のパリティに関するご質問については、シスコのアカウント担当者またはサポート担当者にお問い合わせください。



(注) この製品のマニュアルセットは、偏向のない言語を使用するように配慮されています。このドキュメントセットでの偏向のない言語とは、年齢、障害、性別、人種的アイデンティティ、民族的アイデンティティ、性的指向、社会経済的地位、およびインターセクショナリティに基づく差別を意味しない言語として定義されています。製品ソフトウェアのユーザインターフェイスにハードコードされている言語、RFP のドキュメントに基づいて使用されている言語、または参照されているサードパーティ製品で使用されている言語によりドキュメントに例外が存在する場合があります。



- (注) 現在のリリースは、シスコのセキュリティ開発ライフサイクルに完全には準拠していません。シスコは、このリリースに関連するセキュリティの脆弱性を分析して特定し、影響の大きな脆弱性を解決しました。脆弱性は、シスコのセキュリティ脆弱性ポリシーに従って開示されません。

このガイドでは、仮想化プラットフォームで実行されている StarOS を設定および維持する一般的な方法について説明します。また、システムパフォーマンスのモニタリングとトラブルシューティングについても説明します。StarOS の一般的な動作とサポートされているネットワークゲートウェイ機能に関連する補足情報については、StarOS のマニュアルを参照してください。

- [使用する表記法](#) (ii ページ)
- [関連資料](#) (iv ページ)
- [MIO および DPC](#) (iv ページ)
- [カスタマーサポートへの問い合わせ](#) (v ページ)

使用する表記法

次の表に、このマニュアル全体で使用される表記法を示します。

通知タイプ	説明
情報メモ	重要な機能または手順に関する情報を提供します。
注意	プログラム、デバイス、またはシステムに損傷を与えるおそれがあることを注意喚起します。
警告	人身傷害または死亡事故のおそれがあることを警告します。また、電氣的障害のおそれがあることを警告する場合があります。

書体の表記法	説明
スクリーンディスプレイとして表されるテキスト	この書体は、端末画面に表示されるディスプレイを表します。次に例を示します。 ログイン:

書体の表記法	説明
commands として表されるテキスト	この書体は、入力したコマンドを表します。次に例を示します。 show ip access-list このマニュアルでは、コマンドの完全表記に常に小文字を使用しています。コマンドには、大文字と小文字の区別はありません。
command variable として表されるテキスト	この書体は、コマンドの一部である変数を表します。次に例を示します。 show card slot_number <i>slot_number</i> は、目的のシャーシのスロット番号を表す変数です。
メニュー名またはサブメニュー名として表されるテキスト	この書体は、ソフトウェアアプリケーション内でアクセスするメニューとサブメニューを表します。次に例を示します。 [File]メニュー、[New]の順にクリックしてください。

コマンドシンタックスの表記法	説明
{ keyword または変数 }	必須キーワードオプションと変数は、コマンドシンタックスの一部として入力する必要があるコンポーネントです。 必須キーワードオプションと変数は、波カッコ {} で囲まれています。次に例を示します。 sctp-max-data-chunks { limit max_chunks mtu-limit } キーワードまたは変数が、波カッコまたは角カッコで囲まれていない場合、これは必須です。次に例を示します。 snmp trap link-status
[keyword または変数]	オプションのキーワードや変数、またはユーザーが使用するかどうかを選択できるキーワードや変数は、角カッコで囲まれています。

コマンドシンタックスの表記法	説明
	<p>コマンドによっては、複数のオプションをサポートしています。これらは、各オプションを縦棒で区切って、波カッコまたは角カッコ内に記述されます。</p> <p>これらのオプションは、必須キーワードやオプションキーワードまたは変数と組み合わせて使用できます。次に例を示します。</p> <pre>action activate-flow-detection { intitiation termination }</pre> <p>または</p> <pre>ip address [count number_of_packets size number_of_bytes]</pre>

関連資料

この製品の最新情報は、各ソフトウェアリリースに付属している製品の「リリースノート」で確認できます。

www.cisco.com では、次のユーザードキュメントを入手できます。

- *ASR 5500 Installation Guide*
- *AAA Interface Administration and Reference*
- *Command Line Interface Reference*
- *GTPP Interface Administration and Reference*
- *IPSec Reference*
- *Release Change Reference*
- *SNMP MIB Reference*
- *Statistics and Counters Reference*
- *Thresholding Configuration Guide*
- 製品固有および機能固有の管理ガイド

MIO および DPC

ASR 5500 は、さまざまな管理入出力とデータ処理カードのタイプをサポートしています。

現在サポートされている管理入出力カードのタイプは次のとおりです。

- 管理入出力 (MIO)
- ユニバーサル管理入出力 (UMIO)

MIO と UMIO のカードタイプは、ユニバーサル シャーシ ライセンスの UMIO 要件のみが異なります。

現在サポートされているデータ処理カードのタイプは次のとおりです。

- データ処理カード (DPC)
- ユニバーサルデータ処理カード (UDPC)
- データ処理カードバージョン 2 (DPC2)
- ユニバーサルデータ処理カードバージョン 2 (UDPC2)

DPC と UDPC のカードタイプは、ユニバーサルシャーシライセンスの UDPC の要件のみが異なります。DPC2 と UDPC2 のカードタイプは、ユニバーサルシャーシライセンスの UDPC2 の要件のみが異なります。DPC2/UDPC2 は ASR 5500 でサポートされています。

このガイドの MIO カードまたは DPC について言及する際は、上記に示したように、これらのカードのすべてのタイプに適用することを想定しています。

カスタマーサポートへの問い合わせ

カスタマーサポートに連絡するには、この項の情報を使用してください。

最新の製品マニュアルについては、<http://www.cisco.com> のサポートエリアを参照するか、サービスリクエストを送信してください。このサイトにアクセスするには、有効なユーザー名とパスワードが必要です。詳細については、シスコの販売担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。